

## 入選

### ことわざから学ぶ親切

大分県 朝日中学校

3年 藤内菜穂

「陰徳<sup>いんとく</sup>あれば必ず陽報<sup>ようほう</sup>あり」ということわざがある。人知れず良いことを行う者には、必ず目に見えて良いことが返ってくるという意味だ。この言葉は、よくおばあちゃんが口にしていた。小さい頃はまったく理解できなかったけれど、中学生になった今なら少し、このことわざの意味を理解できる気がする。

私は、大分県別府市に住んでいる。私の通学路は観光スポットとしても有名なため、学校の帰りにたくさんの観光客を目にする。

ある日の下校中、1人の高校生が外国人数人に囲まれているのを目にした。どうしたのかなと思って、耳をすませながらゆっくり横を通って聞いてみると、道を尋ねられているようだった。外国の方は、カタコトな日本語と英語を混ぜ合わせながら話していた。

その高校生はすごく流暢<sup>りゅうちょう</sup>な英語で返していて、一瞬しか聞こえなかったけれど、すごいなと思った。もし自分がそのような状況になったら、あの高校生のような対応ができるのかと考えた。すごく難しいことだと思った。実際、私は過去に観光客から道を尋ねられたとき、分からないと言って逃げてしまった。それは今でも後悔している。

そして、別の日に友達が観光客の人と話していた。少し困っていたから、どうしたのかと聞くと、別府駅に行くにはどうしたらいいのかと教えてくれたので、友達と自分でカタコトながらバス停の位置を教えた。

そのバス停は、偶然にも通学路の途中にあったので、バス停までいっしょに行き、バスの番号と時間を伝え、別れることになった。観光客の人からは「Thank you, so much」や「アリガトウゴザイマス」と何度も感謝の言葉を伝えられた。

感謝されると、すごく良い行いをしたのだなと思い、友達と大きくハイタッチをした。過去に逃げてやらなかったことを、私は友達とやりとげたのだと思うと、嬉しくてたまらなかった。あの目にした高校生みたいに、流暢な英語で対応することはできなかったけれど、大きな一歩だなと感じた。また、自信にもつながった。

その日の夜、こんなことがあったんだよと母に伝えると、すごくほめてくれて、夕ごはんは私の大好きなスパゲッティを作ってくれた。何よりも、観光客の役に立てたことが嬉しくて、何事も一所懸命にすると伝わるのが分かった。

これからは、「塵も積もれば山となる」ということわざをモットーに、困った人を助けられるようになりたい。